

第2回日独合同先進予防医学シンポジウム開催

著者	市村 宏
著者別表示	Ichimura Hiroshi
雑誌名	金沢大学十全医学会雑誌
巻	128
号	3
ページ	114-114
発行年	2019-11
URL	http://hdl.handle.net/2297/00057136



『学会開催報告』

第2回日独合同先進予防医学
シンポジウム開催A report of the 2nd Japan-Germany Joint
Symposium on Advanced Preventive Medicine

金沢大学大学院先進予防医学研究科長

市 村 宏

去る10月3日、4日、石川県政記念しいのき迎賓館において、「第2回日独合同先進予防医学シンポジウム」が開催されました。ドイツのハインリヒ・ハイネ大学（デュッセルドルフ大学、HHU）からの研究者13名をはじめ、金沢、千葉、長崎大学から約200名の研究者が参加しました。本シンポジウムは、大学院先進予防医学研究科（金沢、千葉、長崎、三大学による共同大学院、2016年4月設置）及び先進予防医学研究センターの共催で、HHUとの「二重学位プログラム」確立に向け教育及び研究協力の一層の促進を図る目的で開催されました。なお、第1回シンポジウムは、2018年9月に金沢大学がHHUと大学間国際交流協定を締結した記念にHHUで開催されました。

初日の午前中には、本シンポジウムに先立って三大学共同大学院の合同研究発表会が行われました。金沢、千葉及び長崎大学の学生14名が日頃の研究成果を発表し、所属大学以外の研究者（副指導教員等）から直接の指導・助言を得られる絶好の機会となりました。三大学共同大学院として初めての合同発表会でしたが、学生の研究発表のレベルが高く、好評でした。

午後、山崎光悦学長をはじめ四大学の代表の先生方のご挨拶で開始されたシンポジウムでは、「糖尿病と代謝」、「環境と健康」、「免疫と感染症」、「神経疾患」の4つのテーマが取り上げられました。マイケル・ローデン教授（HHU内分泌内科教授・ドイツ糖尿病センターの最高科学責任者）、川上 純教授（長崎大学第一内科学）、近藤克則教授（千葉大学予防医学センター、日本老年学的評価研究機構代表理事）、金子周一教授（金沢大学消化器内科学、WHO慢性肝炎肝癌協力センター長）による基調講演をはじめとして、四大学の研究者12名がそれぞれの研究分野での最新の知見について講演を行い、活発な研究討議がなされました（プログラム参照）。

このシンポジウムでの相互交流と議論を通じて、四大学の研究者の相互理解がさらに深まり、幾つかの研究分野では、日独共同研究の開始に向けて合意がなされました。また、第3回日独合同先進予防医学シンポジウムはドイツ・デュッセルドルフで、第4回は長崎で開催されることが決まりました。これらの活動が、金沢大学とHHUとの「二重学位プログラム」の確立に繋がることが期待されます。

【プログラム】（総合司会 石崎有澄美准教授[金沢大学]）

○糖尿病と代謝（特別講演：座長 篁 俊成 教授）

- 2型糖尿病の統合生物学-ヒト研究からの教訓
マイケル・ローデン教授 (HHU)
- ドイツ糖尿病センターの紹介
クリスチャン・ヘルダー教授 (HHU)
- インスリン抵抗性の進展におけるミトコンドリア機能の役割
ユーリア・ゼンドレーディ教授 (HHU)
(座長 ユーリア・ゼンドレーディ教授、阿比留教生教授)

- 石川県能登地区での前向きゲノムコホート研究
田嶋 敦 教授 (金沢大学)
- ヒト1型糖尿病モデルとしてのNODマウスからの教訓
阿比留教生教授 (長崎大学)
- 2型糖尿病の肝臓からの教訓 篁 俊成 教授 (金沢大学)
- 造血幹細胞の自己複製および白血病発生における腸内微生物叢が果たす重要な役割
平尾篤史教授 (金沢大学)
- 環境と健康（座長 マイケル・ローデン教授）
8. 大気汚染と健康：タマラ・シコフスキー教授 (HHU)
(座長 クリスチャン・ヘルダー教授、森 千里 教授)
9. マルチオミクス解析を使用した日本の出生コホート：
エクスポソーム、エピゲノム、およびマイクロビーム
森 千里 教授 (千葉大学)
10. アレルギー疾患を含む呼吸器疾患に対する環境化学物質の影響
中村裕之教授 (金沢大学)
11. 健康サービス研究所の概要 ジャナ・ソマー博士 (HHU)
- 特別講演（座長 永山雄二教授 [長崎大学]）
12. 全身性自己免疫、関節画像、疫学分野による炎症性関節炎の研究
川上 純 教授 (長崎大学)
- 特別講演（座長 ハイナー・ファンゲラウ教授 (HHU)）
13. 健康に老いるためのトランスレーショナルリサーチ：
日本老年学的評価研究から得られた教訓
近藤克則教授 (千葉大学)
- 免疫と感染症（座長 倉知 慎 教授 [金沢大学]、
カールステン・ミュンク教授）
14. HIV-1細胞生物学：ウイルスの感知と増殖制限に関わる
宿主因子と薬理学的阻害剤
カールステン・ミュンク教授 (HHU)
15. 内因性ナノ粒子であるエクソソームの特性評価
華山力成教授 (金沢大学)
16. ケニアの子どもたちにおけるHIV感染
市村 宏 教授 (金沢大学)
- 神経疾患（座長 尾崎紀之教授 [金沢大学]、
バステイアン・ノネンベルグ博士 (HHU)）
17. 金沢での認知症研究：臨床的、疫学的研究から分子病態、
予防まで 篠原もえ子准教授 (金沢大学)
18. ヒトでの非言語的コミュニケーション
篠原一之教授 (長崎大学)
- 特別講演（座長 川上 純 教授）
19. 肝細胞癌との闘い 金子周一教授 (金沢大学)

